

平成 26 年 1 月 15 日

### ケータイ社会研究レポートコンテスト・最優秀賞受賞

経済経営学類 3 年生の佐藤平国君の研究「コミュニケーションツールとしてのケータイ 子どもの安心安全に向けて」が、「第 4 回ケータイ社会研究レポートコンテスト 2013 大学生・短大生部門」(主催：株式会社 NTT ドコモモバイル社会研究所)において**最優秀賞**を受賞しました。

#### コンテストの概要

##### ➤ コンテストについて

- 第 4 回ケータイ社会研究レポートコンテスト
- 主催：株式会社 NTT ドコモモバイル社会研究所  
(協賛：株式会社中央経済社)
- テーマ：「モバイル社会の変化とひろがり」をテーマに、主催者から提供されたデータまたは、「ケータイ社会白書」を利用して知見を導くというもの。
- URL：<http://www.moba-ken.jp/>

##### ➤ 審査

- 審査員
  - 東京大学名誉教授でモバイル社会研究所所長の飽戸弘先生を審査委員長とする、計 4 名の先生方によって審査が行われました。
- 一次審査
  - 提出した論文形式のレポート(5,000~15,000 字)が対象で、34 チームが参加しました。
- 最終審査
  - 2013 年 11 月 23 日(土) 日本科学未来館(東京都江東区)において、一次審査を通過した 11 チームが最終プレゼンテーションを行いました。
  - 提出したレポートと最終プレゼンテーションの内容をもとに、先見性、革新性、貢献性などの審査基準に従って審査が行われました。

### ➤ 受賞

- 大学生・短大生部門 最優秀賞
- 受賞者：経済経営学類 3年 佐藤平国（さとうとしくに）

### 研究の概要

#### ➤ 提供されたデータ

- 2012年8月に実施された「子どものケータイ利用調査」(105問、インターネット調査)で、日本全国に在住の8~18歳の男女とその保護者1,000名からなります。

#### ➤ 分析の概要

- 多重代入法による欠損値処理と探索的因子分析
- 階層・非階層クラスター分析
- Kruskal-Wallis と Steel-Dwass による多重比較
- 相関分析

#### ➤ 得られた知見

- 子どものケータイの利用には各発達段階の特徴が密接に関係している可能性があります。
- 子どもがコミュニケーションを目的にケータイを利用する場合に、ケータイは友人との親密性をより高めるツールとなります。
- コミュニケーションを目的にケータイを利用している場合の心理的依存は、発達段階の特性によるものと考えられます。
- 子どもがケータイでネットを利用している場合の心理的依存には注意が必要です。

### 講評

- 審査委員長より、文献研究がきちんと行われている点、提供されたデータが分析に活かされている点、分析が緻密で正確である点を非常に高く評価していただきました。
- 例年に比べて学部生のレベルが非常に高かったために、相対的に大学院生に求められるレベルが高くなり、結果として大学院生部門では、一次審査通過が1チームで、最優秀賞、優秀賞の受賞者なしという結果になりました。
- 提供されたデータは尺度の性質上の制約が多く、かつ欠損値を含むものであったため、分析の難度はかなり高いものでした。そのため過去の受賞作は、独自調査を行いその分析をメインにするか、あるいは実践的なビジネスプランの提案をメインにすることによって、提供されたデータ

の分析そのものを避けてきました。本研究が高く評価された一番の大きな要因は、提供されたデータと真正面から向き合い分析に取り組んだところだと思われます（特に、欠損値処理や消費者タイプの分類においては高度な手法を使いこなしながら、非常に多くの試行錯誤を繰り返しました）。



（お問い合わせ先）

福島大学経済経営学類 中村陽人

・ e-mail : [akito@econ.fukushima-u.ac.jp](mailto:akito@econ.fukushima-u.ac.jp)

・ 電話 : 024-548-8418